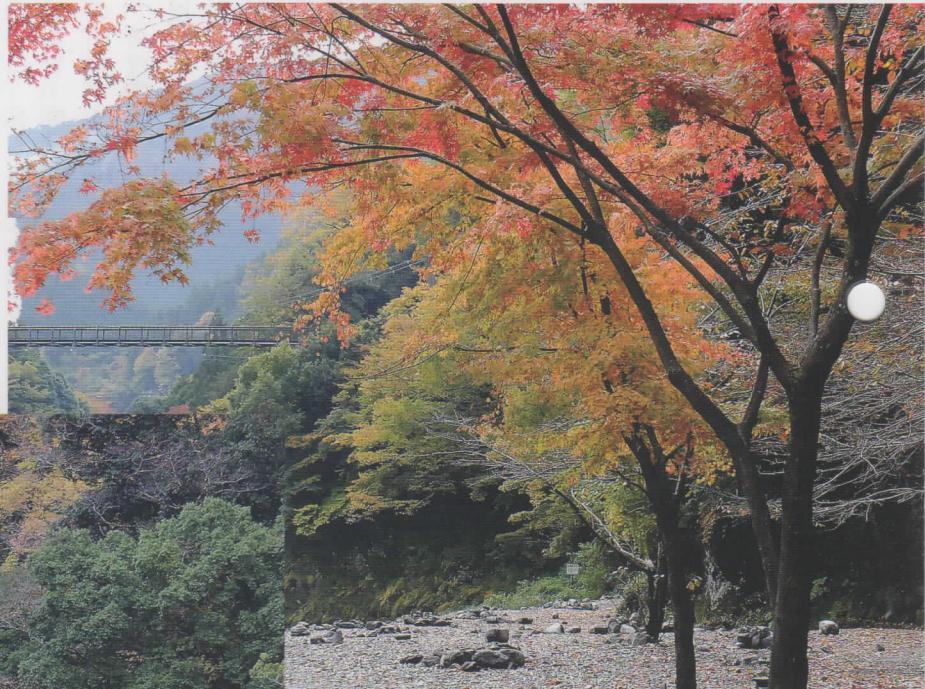
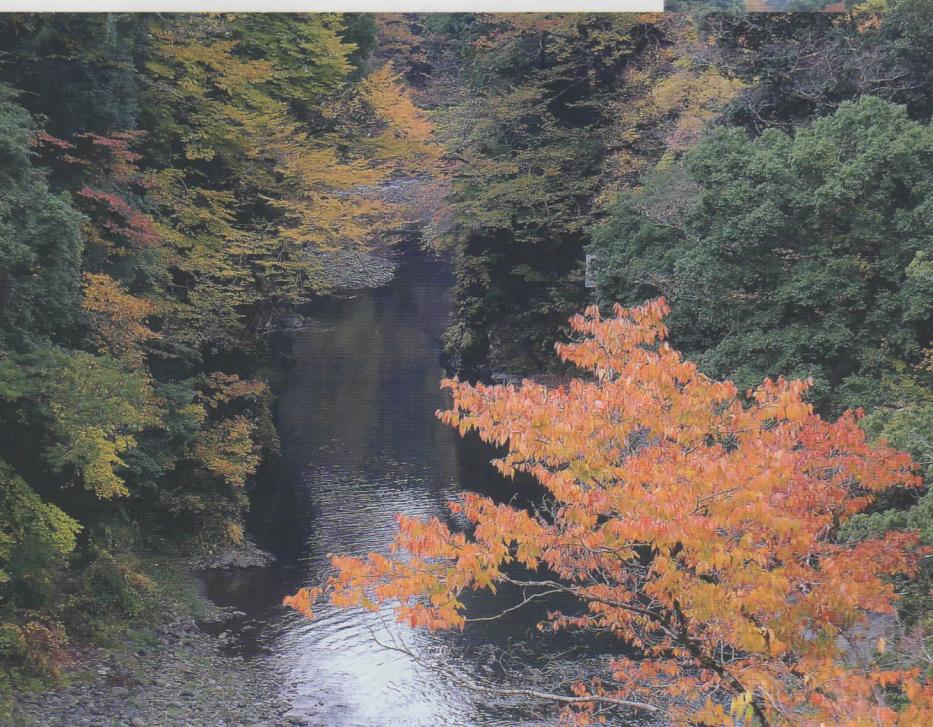


保護司会会報

■発行 西多摩地区保護司会 会長 斎藤 徹 ■編集 西多摩地区保護司会広報委員会 ■発行日 平成29年11月15日



奥多摩の秋



目次

・社明運動、参加人員総括表	2
・中学生の作文、参加保護司会総括表	3
・各分区の活動風景	4
・あきる野分区講演会、活動風景	5
・東京保護司代表者会議	6
・第6ブロック保護司組織運営連絡協議会	6
・多摩地区保護司会連絡協議会保護司研修会	7
・東京更生保護女性連盟結成60周年記念	7
・会務報告	8

地域活動部長 小澤 進

社会を明るくする運動の取り組み

西多摩地区保護司会は、八市町村八つの分区で構成され、各々の分区で特性を生かしながら、犯罪や非行を防止し、立直りを支える地域づくりを目指し、今年度も第六十七回「社会を明るくする運動」に取り組んでまいりました。当運動には、各分区の積極的な取り組みにより、地域で活動されている多くの団体、学校関連、とりわけ中学生、高校生の参加が見られるなど、地域連携、学校連携のもと、活発な運動が展開されております。

今回の運動への延参加人数は、五千四百七十一人、昨年よりも三百人強の増加となつており年々参加者は増加しております。

中学生の参加については、全体の三〇%を占めており、また今回高校生の駅頭広報活動への参加も初めてありました。若い人達の参加は、当運動への関心、理解において大きな効果をもたらすものであり、これらも更なる取り組みが望れます。

各分区の活動状況については、駅頭広報活動への、中・高生の積極的

な参加を呼び掛け、市民が多数集まるイベント会場での広報活動、防犯パトロール、ミニ集会、学校訪問、市内巡回広報活動等分区の創意工夫のもと、多彩な活動が実施されております。

強調月間終了後の九月には、理事会において、小嶋主任保護観察官を迎へ、西多摩全体及び各分区からの活動報告により、各分区間の情報交換を行い、今後への取組に向け、心を新たにし、報告会を終了しました。



加藤市長も駅頭で活動

平成29年度「社会を明るくする運動」参加人員総括表

西多摩地区保護司会 地域活動部

平成29年9月13日

区分	内訳							H28年度実績	
	保護司	更生保護女性会	行政関係者	一般/各種団体	中学生	高校生	教員		
青梅	248	112	49	296	20	0	17	742	721
福生	127	45	28	72	58	0	23	353	339
羽村	146	46	36	67	21	0	17	333	287
あきる野	367	116	52	85	126	12	69	827	591
瑞穂	273	127	94	242	1,389	0	93	2,218	2,232
日の出	48	84	44	422	7	0	12	617	702
奥多摩	74	7	36	129	25	0	8	279	170
檜原	33	2	27	32	0	0	0	94	92
西多摩地区	(32)							(32)	(25)
合計	1,316	539	366	1,345	1,646	12	239	5,463	5,134

(注1) 表の「小・中学生」欄の小学生の対象者については、奥多摩分区の25人のみです。

(注2) 表の「西多摩地区」欄の保護司数32人は、各分区の数値に含まれているため、合計数値には含まれません。

(注3) 表の「あきる野分区」欄の保護司367人のうち他分区の保護司40人、及び更女116人についても他地区更女66人を含みます。講演会での参加者です。

瑞穂第一中学校

加藤 萌乃

中学生の作文

私は社会を明るくする運動の箱根ヶ崎駅での挨拶運動に参加して人々には温かい心が足りていないと考えます。私は朝の通勤、通学中の人々に元気よく挨拶しましたが返事をしてくれる人は少なく、若い世代の人はもつと少なかったです。しかし挨拶を返してくれた方はとても明るく返してくれ、私も明るい気持ちをお裾分けしてもらつたみたいでうれしい気持ちになりました。このように挨拶をすることはした方もされた方も明るい気持ちになれます。

ではなぜしない人が多いのでしょうか。私は他人への興味が薄いからではないかと思います。そこで社会を明るくする運動のように他者へ働きかける運動をすることは素晴らしいと思います。他人へ挨拶からでも興味を持つ切っ掛けになると思うのです。スマホの画面に興味を注ぐというのはいささか面白みのないことです。人生を鮮やかにする一つの手段として私も挨拶をしつかり行つてきたいと思います。

私は社会を明るくする運動の箱根ヶ崎駅での挨拶運動に参加して人々には温かい心が足りていないと考えます。私は朝の通勤、通学中の人々に元気よく挨拶しましたが返事をしてくれる人は少なく、若い世代の人はもつと少なかったです。しかし挨拶を返してくれた方はとても明るく返してくれ、私も明るい気持ちをお裾分けしてもらつたみたいでうれしい気持ちになりました。このように挨拶をすることはした方もされた方も明るい気持ちになれます。



瑞穂分区の啓発活動

平成29年度「社会を明るくする運動」参加保護司 総括表

西多摩地区保護司会 地域活動部

(延行事保護司参加人数)

分 区	広 報 宣 伝													平成27年度実績								
	駅頭活動		市 内 宣 伝 活 動			防犯パトロール		ミニ集会・集いの会		福祉施設・訪問・介助支援		分区研修会・講演会										
			旗立て掲示・撤去	ポスター掲示・撤去	市内巡回	市内巡回	挨拶・声掛け運動	校長会・教育長説明会	会議等各団体啓蒙	西多摩他分区支援	イベント(祭り等)	西多摩他分区支援	会議等各団体啓蒙	西多摩他分区支援								
青 梅	5	31	36		32	30		20	4	53	15	12	10	248	229							
福 生	11	16			19			27	6		22	21	5	127	124							
羽 村	2	17	17	19	19	17		17			18	15	5	146	126							
あきる野	5	48	21	26	32	23		9	5	2	7		24	23	135	7	367	232				
瑞 穂	15	15	16	16	28	13	90	20	25	3		13	15	4	273	251						
日 の 出	4	6	2		6	10		6	4	3		5		2	48	49						
奥 多 摩	7	13		14	7	7			3	3	7	10		3	74	61						
檜 原	3	3	3	3	3	3			3	2	3	5		2	33	33						
合 計	32	116	110	116	39	137	43	30	90	29	5	98	5	29	10	56	112	86	135	38	1,316	1,105

(注1) 表の「あきる野」欄の分区研修・講演会の参加人数135人については、他分区から参加した保護司40人を含む。

(注2) 表の「合計」欄のアミカケは、学校連携活動を示す。



羽村分区



檜原分区



日の出分区



青梅分区



各分区の社会を明るくする運動

大盛況であった 講演会

あきる野分区 森田 一彦

あきる野分区では、社会を明るくする運動の一環として毎年八月に講演会を開催しています。

本年度は八月八日、西多摩地区保護司会顧問の吉澤洋子先生に講師をお願いし「青少年の健全育成と学校・地域との連携」をテーマにご講演をいただきました。秋川ふれあいホール満席の百九十五名の方が参加して下さり、大盛況でした。多くの皆様から「心にしみ入る、すばらしいお話を聞いた」との感想が寄せられました。

吉澤洋子先生ありがとうございました。心より感謝いたします。



吉澤洋子さんの 講演会に参加して

あきる野分区 野崎 敏子

NHKのテレビで「みおづくし料理帳」という番組がありました。主人公みおは、日々料理が好きで一品、一品に心を込め、食材に生命を吹き込んでいます。自分の料理を食べた人のほころぶような笑みを見るとだけを喜びに次々と料理を考案していくきます。ごまかしはできません。

それは少年（人）も同じ。どんなに立派な言葉をかけても人の心は動きません。罪を犯したり、傷ついたり傷つけた人は人間に對して警戒感が強く、この人は本物かどうかをすぐ見抜いてしまいます。吉澤さんは出会いった少年（人）に対して立派な教訓を述べるわけではなく、ありの寄り添う深さが一六〇名以上の人々の心を動かしてきたのでしょうか。

人は休むことなく与えられた命の道を歩いていかねばなりません。神様は不公平で人によって様々な試練を与えていきます。つまずいたり、ころんだり、時には起きあがる力すらなくした時、吉澤さんと出会い、心を抱きしめてもらいまる。「しつかり歩

いて行きなさい」「歩いて行つていんだよ」と、背中を押してもらつて歩き始めた人は吉澤さんとの出会いに感謝していることでしょう。けれど、それ以上に吉澤さんも出会えた人々に「出会つてくれてありがとうございます」と、感謝をしている。そんな思いが伝わってくる講演会でした。



あきる野分区



奥多摩分区



福生分区

第二回 東京保護司代表者会議

西多摩地区保護司会

会長 齊藤 啓

- ①就労支援関係経費では、
- ②更生保護就労支援事業の拡充 等就労奨励金支給制度の拡充

平成二十九年十月十九日(木)東京保護觀察所において、東京保護司代表者協議会が開催された。

開会にあたり、東京保護觀察所の幸島所長から挨拶があり、九月十三日に都内で開催された「第三回世界保護觀察會議」において、日本の保護司制度に高い関心と評価があつたとの報告がされた。また、現在策定中の「再犯防止対策推進法」に基づく推進計画が十月十日に公表され、パブリックコメントの期間を経て十二月中の決定を目指しているとの報告があつた。

説明事項では、「平成三十年度更生保護関係予算概算要求の概要」について説明があり、

①更生保護サポートセンターの拡充
②保護司の人材確保対策の推進
③保護司活動の支援の充実強化
更生保護施設関係経費では、
①更生保護施設の人的体制の強化
②高リスク者の受け入れ促進
③更生保護委託費（委託事務費）の単価の見直し



東京都の保護司現員数	四千三百七十五人
現員数	三千四百七十八人
充足率	八十五パーセント
保護司定数	百六十人

現員数 百三十六人
充足率 八十五パーセント

「府中地区保護司会」から公共団体が公共団体から受けている支援について、連携している活動について発表があつた。

十月十八日、京王プラザホテル王子において、東京保護觀察所及び東京保護司連合会主催の第6ブロック保護司組織運営連絡協議会が開催されました。

協議会は初めに喜入統括保護觀察官より今年度の協議主題「期待される保護司組織運営の在り方」について趣旨説明が行われました。その後各保護司会意見書に基づいた基調報告を行い、続いて意見交換を行いました。

基調報告は、八王子地区、町田地区、西多摩地区、日野・多摩・稲城地区の順で行われました。西多摩地区は福田宮夫研修部副部長が保護司会運営に若手保護司が参画するために行っている工夫、及び若手保護司の役割についての意見発表を行いました。

午後四時五十分、第6ブロック保護司組織運営連絡協議会は全ての議事を終了しました。

(広報部 小峰 恒夫)

評があり、幸島聰東京保護觀察所長が、觀察所への要望として保護司の定年延長と、実費弁償金の支払いのための事務量負担軽減についての回答がありました。定年延長については、頭でっかちでよいかとの懸念がある。事務量軽減については、問題提起があつたことを必ず報告することのことでした。

午後四時五十分、第6ブロック保護司組織運営連絡協議会は全ての議事を終了しました。

意見書によると、第6ブロックの各保護司会とも保護司会運営に工夫をしており、次世帯を担う役員の育成・確保は最重要課題と認識して会の運営に取り組んでいるように感じました。新任保護司の確保にも苦労している現状も課題となつております。

終わりに前川洋立川支部長より総



平成二十九年度 第6ブロック保護司組織運営連絡協議会

多摩地区保護司会連絡協議会 平成二十九年度

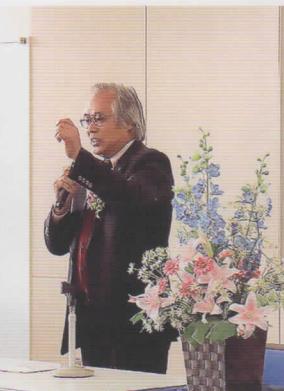
保護司研修会

十一月二日（木）立川第二法務総合庁舎大会議室において、角田政信氏（日野・多摩・稻城地区保護司）による「裁判員を経験して」栗原正史氏（埼玉地方裁判所・家庭裁判所総括判事・さいたま簡易裁判所判事）による「裁判員裁判の制度と実際」の講演会の研修が行われ百四十名の保護司が参加しました。西多摩からは二十名でした。

角田政信氏は平成二十六年十月、裁判所から封筒が届いてから平成二十七年十月初めの裁判に裁判員の候補者になるまでの経過、更に呼び出し状が来てから裁判の進み方、判断が出来るまでの経過を部屋の配置図なども付けて説明されました。特に十月二日から始まる計六日間の法廷での検察官の起訴状・弁護人の意見・証人尋問・評議・判決の裁判員裁判を体験された話を、守秘義務を意識しながら詳しく講演されました。栗原正史氏は、平成二十一年裁判員制度施行からの八年間の振り返りと裁判員制度の意義・課題等難しい内容を、ユーモアとウイットに富んだ柔らかな口調で講演されました。



栗原正史氏



角田政信氏

（広報部 佐久間砂由利）

西多摩の全ての保護司の方々に栗原氏の研修を受けて頂きたくなる素晴らしい講演会でした。

角田政信氏は平成二十六年十月、裁判所から封筒が届いてから平成二十七年十月初めの裁判に裁判員の候補者になるまでの経過、更に呼び出し状が来てから裁判の進み方、判断が出来るまでの経過を部屋の配置図なども付けて説明されました。特に十月二日から始まる計六日間の法廷での検察官の起訴状・弁護人の意見・証人尋問・評議・判決の裁判員裁判を体験された話を、守秘義務を意識しながら詳しく講演されました。栗原正史氏は、平成二十一年裁判員制度施行からの八年間の振り返りと裁判員制度の意義・課題等難しい内容を、ユーモアとウイットに富んだ柔らかな口調で講演されました。

司法の世界に民意を反映させることが求められ裁判員制度が始まりました。その成果として裁判官が当たり前としていた部分にも立ち返り基本を大切にする裁判へと変容している。質が向上した。一方、高裁にて裁判員裁判の判決が覆るケースが出てきている課題もある。最後に、裁判員経験者が「参加してみて制度の本当の意味が理解できた。参加してよかつた」という声も寄せられたと総括されました。

ぐいぐい引き込まれて聞き入った二時間でした。

西多摩の全ての保護司の方々に栗原氏の研修を受けて頂きたくなる素晴らしい講演会でした。

（平成二十八年十一月二十五日、明治座にて東京更生保護女性連盟結成六十周年記念式典が行われました。前日東京は五十四年ぶりの大雪でしたが、西多摩地区更生保護女性会から四十名が出席しました。式典は、御歌（みうた）齊唱、綱領唱和、来賓あいさつの後、顕彰が行われました。

羽生潤子

（一年遅れの掲載になつてしまいまして）

十二時より、松平健、山本陽子、檀れい、剛力彩芽ら出演による「祇園の姉妹」の観劇があり、十五時三十分、被顕彰者百十二名、参列者三百四十八名を集めての華やかな記念式典は終了しました。



会務報告

地区担当保護観察官の変更

福生、羽村、瑞穂地区を担当している林田実代保護観察官が平成二十九年九月二十日から育児休暇に入ることになりました。後任は二瓶陽子保護観察官です。

退任保護司（敬称略）

平成二十九年九月十六日付三名の方が退任されました。長い間保護司活動へのご尽力ありがとうございました。

森田 勝（福生分区） （在職 十六年）

小山 昭勝（福生分区） （在職 十四年）

新任保護司（敬称略）

鶴岡 紀彦（あきる野分区） （在職 十四年）

平成二十九年九月十七日付左記の方が新たに保護司として委嘱されました。今後のご活躍を期待します。

理事会報告

平成29年11月15日

西多摩地区保護司会会報



町田 幸子
(青梅分区)



第2回理事会の様子

区保護司会より交流会の申し入れがあり、受け入れの方向で準備しているとのことでした。協議事項では「第67回社会を明るくする運動」について小澤地活部長より全体報告、各分区長より分区の報告がありました。

今後の行事予定

新年会
場所 あきる野市役所五階
平成三十年一月二十二日（月）
午後四時より

△西多摩地区保護観察協会

参与との協議会

十一月十五日（水）
午後四時より

東京都更生保護事業関係者顕彰式典

十一月二十一日（火）
午後十二時三十分より
(受付 十一時三十分)

△第三回常任理事会

十一月二十二日（水）
午後一時三十分より

△観察官による実務研修

十一月二十八日（火）
午後一時三十分より

△西多摩地区地域活動推進講演会

十一月二十九日（水）
午後二時より

編集後記

◆ 紅葉前線真っ盛りです。朝晩の冷え込みも段々と厳しくなってきました。異常気象は相も変わらず続いている。内外の情勢も混沌としています。私達は、平穏で穏やかな日々が送れることが最大の喜びです。

さて、広報123号も無事発行する事が出来ました。第六十七回社明運動をメインに編集しました。寄稿頂きました皆様に心より感謝申し上げます。次号は、各分区の研修報告を中心編集いたします。新人広報部員、優しい先輩に囲まれて緊張の中奮闘中です。

広報部

遺族追賞

場所 あきる野市役所五階
平成三十年一月二十二日（月）
午後四時より

故 武内昌一前会長

永年にわたり更生保護事業にご尽力され、多大なご功績がありました左記の方のご遺族に遺族追賞の銀杯桐一号が贈られました。